

## エジプト・アラブ共和国訪問報告書

岡山県立総社南高等学校 1年 惣台歩季

エジプト訪問で最も印象に残っているのはエジプトの人がとても人懐っこかったことです。とても積極的に話しかけてくれて、最初は戸惑っていましたが、2日目には慣れて話すことが楽しくなってきました。カルナック神殿を見学中、現地の中学生在がたくさん来て一緒に写真を撮ったりしましたし、お土産屋さんでどれを買おうか悩んでいて「これ可愛いなあ。」と言っていると「アリガトウ。」と日本語で話しかけてくれたり、本当に色々な人と話すことができました。以前より人とコミュニケーションをとるのが上手くなった気がします。言葉が違う人と話すのはとても楽しいものだと知りました。また陽気な人も多く、よく冗談を言って笑わせてくれました。

しかし驚いたのはクルーズ船に乗っているとき、小さなボートがやってきて、タオルやスカーフなどを広げて船の乗客に売り込みに来たことです。「いくらですか？」と聞くと広げていたタオルを投げたので驚きました。最終的には3つほどタオルを投げたきて、どうやって返そうか悩み、焦りました。観光業で生計を立てている人が多いらしいので物を売ることに對してのやる気がすごかったです。

建造物の中で印象に残っているのはピラミッドとハトシェプスト女王の葬祭殿です。私の中でエジプトと言えばピラミッドというイメージがあったので観光することができて本当に嬉しかったです。ピラミッドの中にも入らせていただき、とても貴重な経験をすることができました。私はピラミッドの中に入れるなんて思っていませんでしたし、中に通路や部屋があるなんて知りませんでした。大きな石を積み上げるだけでも大変なのに通路まで作っているなんて考えてなかったので、さらに古代エジプト人を尊敬しました。調べてみるとクフ王のピラミッドが出来たのは日本の縄文時代らしいです。縄文時代の人々が土器を作っている間に古代エジプト人はピラミッド作っていたのだから技術の発展速度が全然違うのだなと思いました。他の遺跡でもナイル川の氾濫を利用した建築方法を教えてもらい、古代エジプト人の建築技術が優れていたことがわかりました。

ハトシェプスト女王はカイロに到着した日に訪れた考古学博物館で興味をもった人物だったので、葬祭殿に行って説明が聞けて良かったです。弟のトットメス2世と結婚し、弟と第2夫人との間に生まれたトットメス3世が成人するまでファラオの座に就き、長い間男装をしてファラオとして国を治めていたハトシェプスト女王は最終的にはトットメス3世に恨まれ、暗殺され、葬祭殿の壁画などが壊されたそうです。彼女の壮絶な人生はとても印象的でした。

今回のエジプト訪問はとても楽しく、忘れられない思い出がたくさんできました。様々な貴重な体験もさせていただき、エジプトに行って本当に良かったと思います。友達や親戚にもエジプトの魅力を伝えたいと思いました。

将来、もう一度エジプトに行きたいと思いました。